

つたやしのミニネットコーナー

ミニネット
No.22

毎日が避難訓練です

阪神・淡路大震災、東日本大震災の教訓を受け、避難訓練を行う学校も多いと思います。私は2012年石巻市を訪れ、当時危機一髪でクラス全員を避難させた先生から次の言葉を聞きました。「避難

訓練の後、よく『今日の避難訓練は〇点でした』という講評を聞かれると思います。しかし、避難訓練に60点も70点もありません。0点が100点だけです。子どもが1人でも命を失ったり怪我をしたりする可能性のある訓練だったらそれは0点なんです。子どもを無事に保護者の元に帰す。これ以上に大切な仕事はないと震災のときに思いました」

この言葉を聞き、私は避難訓練の方法を見直しました。より身近なところで訓練に取り組めるよう、教室移動の時間を使うことにしました。

まず、授業開始のチャイム

とともに日直が「訓練。体育館へ避難！」と号令をかけ、全員で「はい！」と返事をして速やかに整列・移動します。このとき、「お・は・し・も(※)」が守れていなければ教室に戻りやり直しをさせます。

移動先へ着いたら所定の位置へすばやく座らせ、最前列の子に、人数を数えて「男子〇名、女子〇名、全員無事です」と報告にさせます(専科の授業の場合は移動先の教室の前まで行き、外から全員が席に着くのを確認します)。

こうすれば、無理なく、ほぼ毎日避難訓練ができます。想定外の大災害のときに役立つのは、こうした日常化した訓練です。1年間を通じて行いたいですね。



イラスト | 吉田朋子

※ 「お・は・し・も」… 「お(さない)・は(しらない)・し(やべらない)・も(どらない)」